

少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを・・・ そんな街に住みたい！

想い

軌跡



メッセージを載せ国場川を泳ぐ手づくりのこいのぼり

国場川に 清流を取り戻す会

地域環境の悪化

本土復帰(1972年)以降の急激な都市化に伴い当地域は人口が増加し、コミュニティ機能は低下した。加えて、地域の中央を流れる国場川も流域の急速な開発とともに河川環境の悪化などの問題も発生。

地域からは「問題を解決しなければ！」などの声が聞こえるようになった。

子ども達に“ふるさと”を残すために

地域環境の改善を目的として有志が立ち上がり、「国場川に清流を取り戻す会」を発足。「子どもたちのふるさとづくり」の一環として、手づくりこいのぼりによる「国場川こいのぼりまつり」を開催した。このほか、川沿いの清掃や植栽など河川環境の改善に取り組んでいる。

世代間の交流・橋渡し

地元小学校の「総合的な学習」の時間にも参加し、世代間の交流を広げる工夫も…。河川の清掃・維持活動やこいのぼりまつりには、地域から若い世代が多く参加するようになった。

また、近隣高校生にもイベントに参加してもらい、若い世代と一緒に活動を行うことにより地域の活性化や世代間の橋渡しにも…。

“少年に夢を、青年に希望を、 お年寄りに誇りを・・・そんな街に住みたい！”

20年間の継続した活動の結果、地域のコミュニティは活発になり、国場川は若い二人の人生の門出の場所としても選ばれるまでになった。

私たちは、この地域を那覇で一番住みやすく、新しい息吹が感じられる街にしたい。



伝統エイサーが
まつりに花を添える



清掃活動に集まる住民



結婚の記念撮影の
舞台となる国場川

【主な活動実績】

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 平成 8年5月 | 会の設立準備会開催 |
| 平成 9年5月～ | 第一回国場川こいのぼりまつりを開催、河川周辺の清掃活動を開始 |
| 平成13年11月 | サガリバナ植栽プロジェクト(サガリバナ20本を植栽) |
| 平成23年2月 | 国場川さくら並木プロジェクト事業(桜80本を植栽) |